

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)ネットヨタ広島広島西店			■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.35		-	2.7
1 音環境		2.7	0.15	-	-	2.7
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		2.4	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.71	3.0	-	
2 界壁遮音性能		1.0	0.29	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.40	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.23	5.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		2.5	0.25	-	-	2.5
3.1 昼光利用		3.0	0.35	-	-	
1 昼光率		3.0	0.44	5.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.56	3.0	-	
3.2 グレア対策		1.0	0.22	-	-	
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.11	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.32	-	-	
4 空気質環境		3.2	0.25	-	-	3.2
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		2.2	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.37	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.25	1.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.37	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.8
1 機能性		3.2	0.40	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.24	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.24	4.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.51	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	4.0	-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上	4.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した設計において、該当する項目数が標準以上	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	床:塩ビタイル20年、壁:ビニルクロス20年、天井:ビニルクロス20年	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途配管にB以上を使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性				2.1	0.30	-	-
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		1.8	0.30	-	-	
	2	空間の形状・自由さ		1.0	0.60	1.0	-	
				3.0	0.40	1.0	-	
	3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)				—	0.35	-	-
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制				1.0	0.10	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				4.0	0.56	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm＝0.780	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				1.0	0.23	-	-	1.0
	集合住宅以外の評価			1.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		1.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水器具・節水対応水栓を主要な水栓の過半数に使用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.3	0.20	-	-	2.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		2.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率に基づくスコア換算＝3.7	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.2	0.33	-	-	2.2
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.1	0.33	-	-	2.1
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	